



ふるさと笠松の「ちょっといい話」101号



「鮎鯨街道ウオーク」で、「おもてなしの心」を発揮。

9月23日(水)の秋分の日、第7回鮎鯨街道ウオークが実施されました。素晴らしい秋空の下で、たくさんの方が参加してくださいました。

今年は福祉会館前からのスタートでした。ですから、岐阜方面からの参加者は少ないことが予想されました。そこで話し合いの末、道徳のまち笠松推進会議では鮎鯨ウオークのコースをきれいにすることに取り組むことを決めました。

9月23日の午後1時に福祉会館前に集合し、堤防の上の東屋までの鮎鯨街道をタバコの吸い殻やペットボトルなどのゴミを拾いながら歩きました。参加者の方にきれいなコースを歩いて欲しいというおもてなしの心で、ゴミ拾いに取り組みました。

きれいになったコースには気持ちのよい秋風が吹き抜けました。ゴミのない笠松町がいつまでも続くように町民みんなで心掛けたいですね。



福祉会館前から堤防の東屋までゴミを拾いながら歩きました。

「笠松町民大運動会」で中学生ボランティア大活躍

10月4日(日)は素晴らしい秋晴れでした。昨年は雨で中止になった笠松町民大運動会でしたが、今年最高の運動会日和に恵れました。運動場を見渡しますと多くの町民の方々が開会式にお集まりです。その中でひときわ目立っていたのはオレンジTシャツを着た中学生の姿です。その数66名にのぼります。ボランティア希望者は77名もいたそうです。どうしてこんなに大勢の中学生がボランティア活動に参加してくれるのでしょうか。森川教頭先生は参加者が多い理由について、次の3点ではないかと教えて下さいました。

- ① ボランティア活動とはどういう活動なのか理解が進み、定着してきたこと。
- ② 活動する先輩の姿にあこがれたり、活動の楽しさに気付いたりしてきたこと。
- ③ 地域の人に「頑張っているね。」「ありがとう。感謝」などとほめてもらえること。

この3点のなかでも一番の理由は、③番のほめてもらえることではないかと話されました。これからもオレンジTシャツを着て、ボランティア活動をしている姿を見たら是非、町民の方々から一言ほめてあげましょう。



準備運動中の中学生ボランティア



退場門で活躍中の中学生ボランティア



開会式前の中学生ボランティア



ずらり並んだ優勝旗



準備運動は大切ですね。



ヨーイドン・負けるな全力疾走だ。



はかまをはいていてもすごい速度です。



人数が多いので景品渡しも大変です。



力が入っていますね。息を合わせて「それー」



頑張りましたね。おめでとう。